

そらのほしくつある



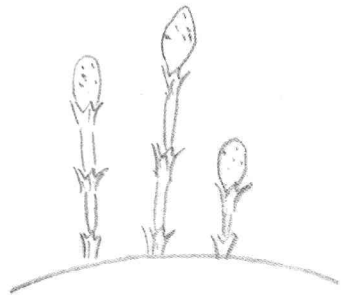
もくじ

一、かみさま……………4

二、かみさま……………10

三、イエスさま……………16

四、せいれい……………18



五、おいのり………24

六、きょうかい………26

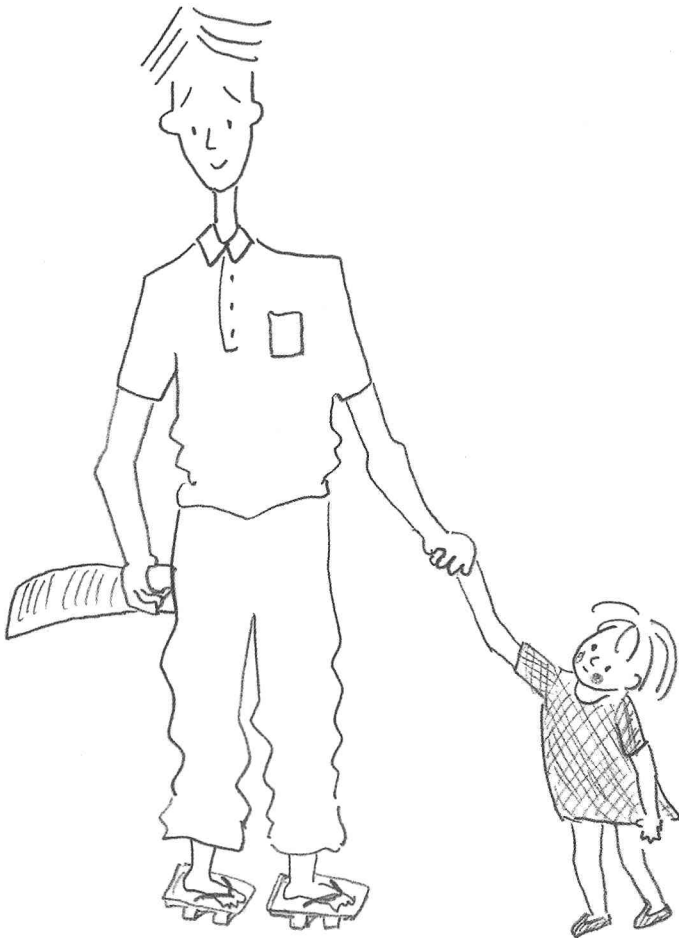
七、せんれい………32

八、せいさん………34



これは
わたしの
お父さん

かみさま



これは
ぼくの
お父さん



これは
わたしの
お父さんの
お父さん



これは
ぼくの
お父さんの
お父さん



てんの
かみさまは



みんなの
お父さん





ev₁

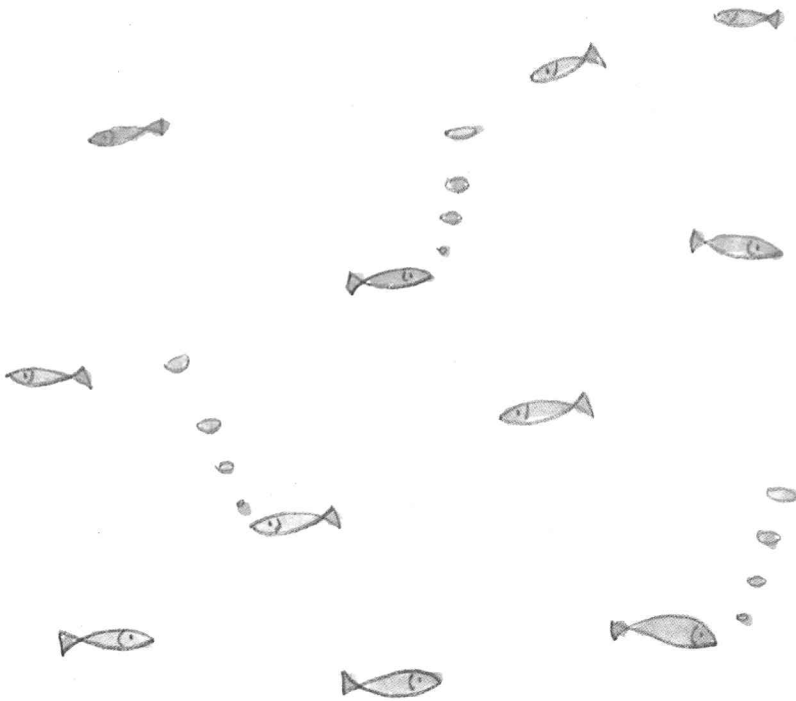
UN₁

UN

UN₂

おまおに
おまおに
おまおに

おまおに
おまおに





せがいの
 ごとども
 みんなと
 なんけん



かみさまは

みんなごぞんじ

みんなかぞえて





あいして
くださる

みんな
まもつて



イエスさま

イエスさまは

てんのおとうさまの

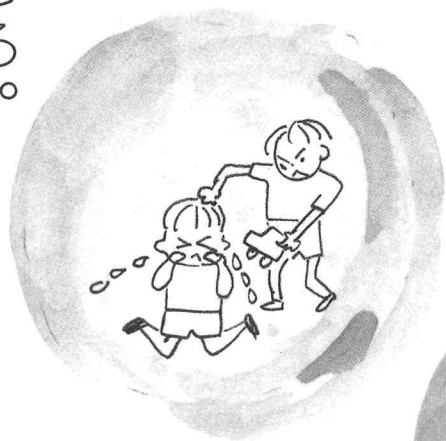
ひと(ひと)

めには

みえないけれど

いつもわたしたちと

いっしょにいてくださる。



みんなとあそんでいるときも

ひとりでおるすばんしているときも

けんかしてるときも

おしよぐじをしているときも

びょうきでねているときも

いつもいっしょにいてくださる。





かぜは
だれにも
みえない



でも
かぜがふくと
こいのぼりや
木のえだがうごくん





せいれいも
だれにもみえない。



でも

せいれいが

はたらくと

わたしたちのこころが

うごいて

げんきになる

せいれいは

かみさまのちから



おいのり

おいのりって

かみさまと

おはなしすることなんだよ。

めをとじて

てをくんで

はじめに「てんのおとうさま」っていつて

あとはなんでもすきなことを

はなしていいんだ。

かみさまは

どんなことでも

みんな

きいてくださるよ。

そしておしまいに

「アーメン」つていうんだ。

「そのじいじがです」つていうことなんだよ。



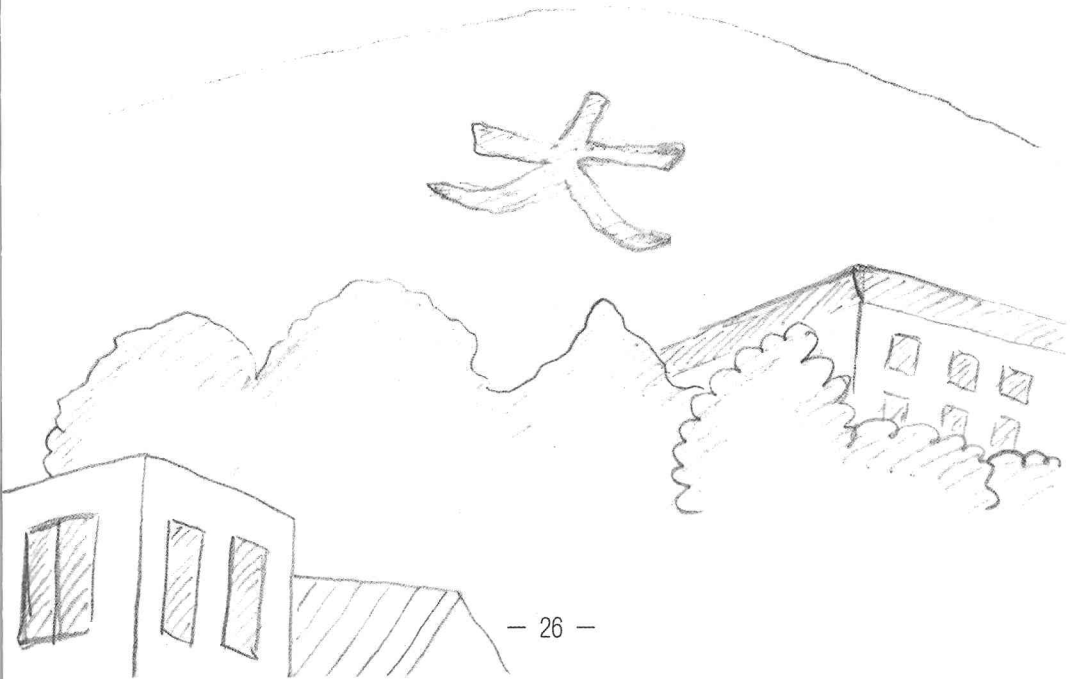
きょうかい

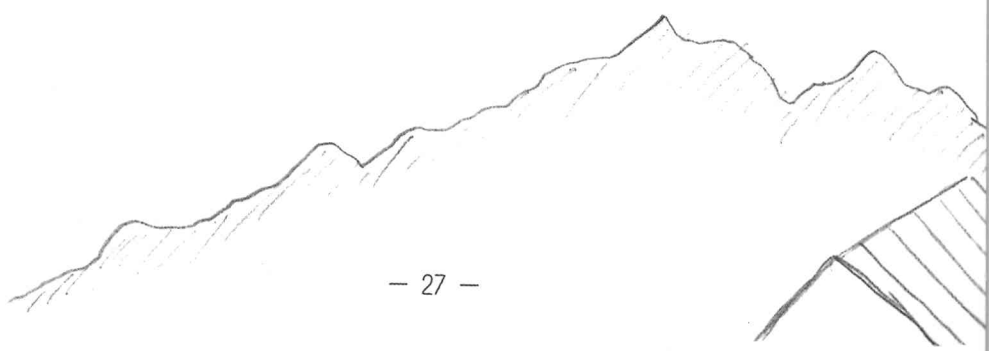
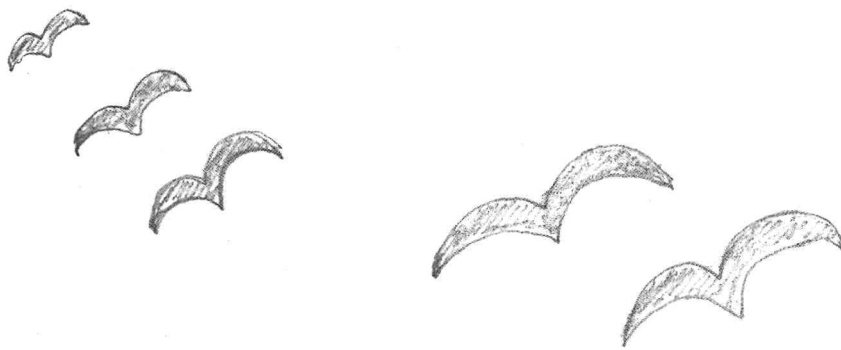
とりたちは

ひがくると

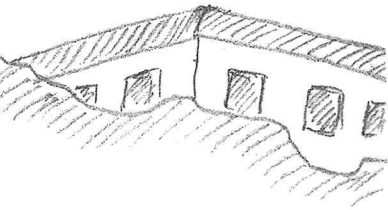
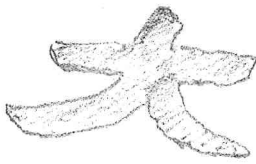
とりのすに

かえります



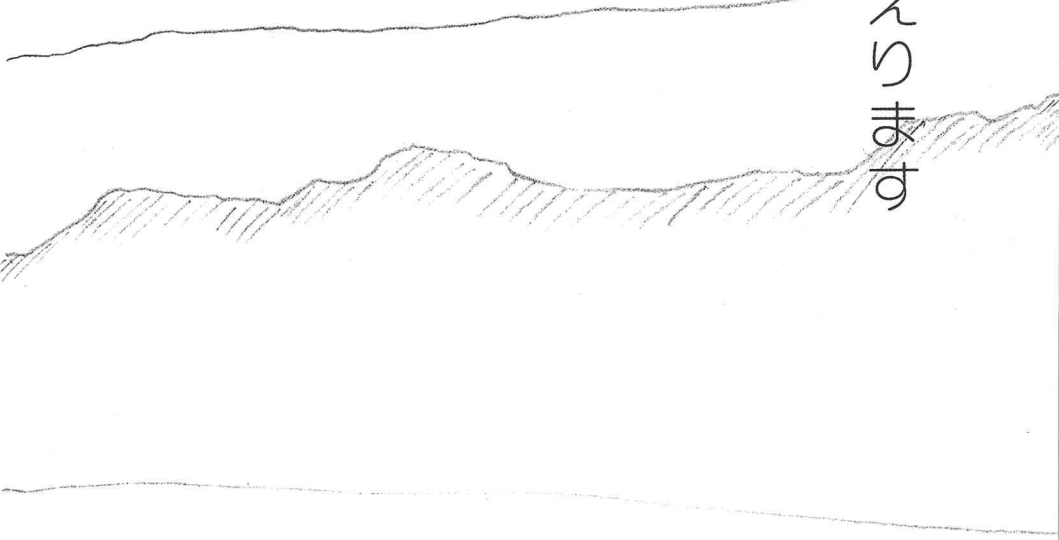


わたしたちは
ひがくれると



うちに

かえります



わたしたちは
にちようびになると
きようかいにいきます

きようかいは
てんのおとうさまの
うちだから





せんれい

ちいちゃんはイースターに
お母さんとせんれいをうけて
かみさまのこどもになりました。

父と

子と

せいれいのみなによつて

といつてぼくしせんせいがあたまに

水をかけてくださいました。

みずのなかでいちど死んで

かみさまのこどもになつて

もういちどうまれてきたしるしです。



ぼくしせんせいも

きようかいがつこうのせんせいも

きようかいにきているおじさん・おばさん

おにいさん・おねえさんたちも

せんれいをうけたひとは

みんなかみさまのこども

かみさまのかぞくです。

お母さんと二人で

くらしていたちいちゃんは

きようからかぞくが

たくさんふえました。



せいさん

ちいちゃんは

せんれいをうけたあとで

はじめてせいさんをうけました。

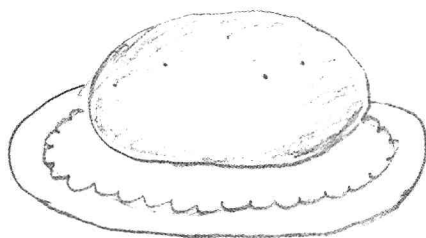
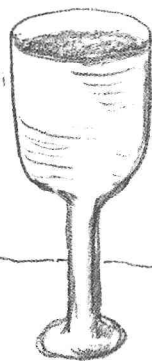
ぼくしせんせい

これはイエスさまのからだ

これはイエスさまのち

とってパンとぶどうしゆを

みんなにくばってくださいます。



イエスさまが

十字架にかかれるまえのよる

おでしさんたちに

これはわたしのからだ

これはわたしのち

といてパンとぶどうしゆを

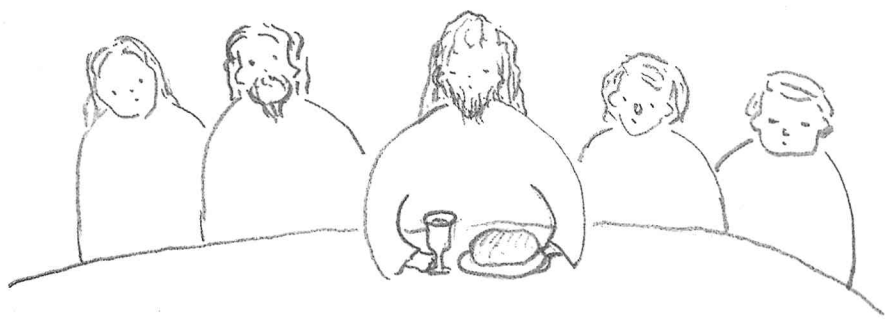
わけてくださったからです。

イエスさまがいつも

わたしたちといっしょにいて

ちからをくださっている

しるしです。



おわりに

子供が教会学校で使える楽しい教科書があったらいいな、それを順番に学んでいたら堅信礼の準備ができたらなあいいな、家に持って帰って、お母さんやお父さんといっしょに読んで話し合う場ができたらもったいいな、夢は次々とふくらんでここに最初の一冊が出来上がりました。母親が子供に説明するつもりでできた物です。

これが第一歩となって二冊目、三冊目と出来ていくことを願っています。

一九九二年 八月

ルーテル宣教百年記念事業室
子供プロジェクト委員会

再版によせて

最初の版が出版されて十余年が過ぎました。多くの方々から再版のご要望をいただいておりますが、この度、次世代への信仰継承のために活動しております



TNG委員会の幼児部門において検討し、ここに再版の運びとなりました。発行当初「おわりに」に記された思いは、今も変わらず私たちの思いです。多くの子どもたちが、神様からの贈り物を喜んで受け取ってくれるようにと願っています。

日本福音ルーテル教会宣教室

二〇〇五年 七月

TNG—幼児部門

日本福音ルーテル教会宣教室
TNG-幼児(部門)